

評価項目	A	B	C	D
学問としての現代福祉学とそれに立脚した福祉専門職について説明できる。	現代福祉学や福祉専門職に関する深い理解があり、それらを的確に説明できる。	現代福祉学や福祉専門職に関する基本的な理解があり、主要なポイントを説明できる。	現代福祉学や福祉専門職に関する理解が基本的で、特定の視点に偏っていることがある。	現代福祉学や福祉専門職に関する理解が不足しており、十分な説明ができない。
自身で作成したノートにより、基本的な文章作法に基づいたレポートの書き方を説明できる。	自身で作成したノートを元に、基本的な文章作法に基づいたレポートの書き方を的確に説明できる。	自身で作成したノートを利用して、基本的な文章作法に基づいたレポートの書き方を説明できる。	自身で作成したノートを利用して、基本的な文章作法に基づいたレポートの書き方を簡単に説明できるが改善の余地がある。	ノートから得た知識を基に、文章作法に基づいたレポートの書き方について十分な説明ができない。
プレゼンテーションやディスカッション等の技法の基本的事項を説明できる。	プレゼンテーションやディスカッションの技法について、基本的な事項を明確に説明できる。	プレゼンテーションやディスカッションの技法について基本的な事項を説明できる。	プレゼンテーションやディスカッションの技法について基本的な事項を簡単に説明できるが改善の余地がある。	プレゼンテーションやディスカッションの技法について理解が不足しており、十分な説明ができない。
毎日の生活の時間配分を自ら管理しながら、学習習慣を身につける方法を説明できる。	毎日の生活の時間配分を自己管理しながら、学習習慣を効果的に身につける方法を説明できる。	毎日の生活の時間配分を管理しながら、学習習慣を形成する基本的な方法を説明できる。	毎日の生活の時間配分を管理しながら、学習習慣を形成する基本的な方法を簡単に説明できるが改善の余地がある。	毎日の生活の時間配分を管理しながら、学習習慣を形成する方法について理解が不足しており、十分な説明ができない。
キャリア形成ならびに、研究倫理と職業倫理について理解し、説明できる。	キャリア形成ならびに、研究倫理と職業倫理について深い理解があり、明確に説明できる。	キャリア形成ならびに、研究倫理と職業倫理について基本的な理解があり、説明できる。	キャリア形成ならびに、研究倫理と職業倫理について基本的な理解があり、簡単に説明できるが改善の余地がある。	キャリア形成ならびに、研究倫理と職業倫理について理解が不足しており、十分な説明ができない。